

事業所名	Blue Bird	支援プログラム	作成日	2025 年	5 月	1 日
法人（事業所）理念	未来を見据えて、今に手を差し伸べる 子どものペースで、確かな未来へ 私たちは、すべての子どもたちが「特別で、かけがえない存在」であることを信じています 今この瞬間の子どもたちの姿にしっかりと寄り添い、未来への一歩を共につくっていくことが、私たちの使命です					
支援方針	◆「できる」を伸ばすだけでなく、「できないとき」の力も育てる 一人ひとりの「できること」はもちろん大切にしながら、「できない」「うまくいかない」ときにどう対応するか、自分で選び、ヘルプを出せる力を育てていきます ◆チームで支える 困難なケースに対しては、スタッフ同士で情報を共有し、誰か一人が抱え込むことのないよう、チームで支える体制を整えています。孤立を防ぎ、安心して支援にあたれる職場づくりを目指します ◆一人ひとりの「今」に寄り添う 子どもは、大人の思い通りに育ちません。でも、一人ひとりのペースで、ちゃんと成長しています。その「今」の姿を大切に受けとめ、急がず、比べず、ありのままを支えています ◆人とつながる力を育てる 社会の中で生きていくうえで、「人とどう関わるか」「どう頼るか」はとても大切な力です。私たちは、子どもたちが「自分らしく」誰かとつながりながら生きていけるよう、コミュニケーションや社会性の土台を育みます					
営業時間	9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで
	送迎実施の有無		あり		なし	
支 援 内 容						
本人支援	 1. 健康・生活	ねらい 子どもたちが心身の健康を保ち、自分の生活に必要なことを少しずつ自分でできるようになることを目指します 具体的な支援内容 ・手洗い、排泄、着替え、食事など、日常生活に必要な行動を、一人ひとりのペースに合わせて一緒に練習します ・生活のリズムが整うよう、同じ流れの中で過ごすことを意識します ・健康や安全について伝える絵本やカードを使い、楽しみながら理解を深めます 評価方法 ・支援場面で子どもの様子を、できたこと・できなかったこと・手助けの量などを記録します ・月に1回の振り返りで、生活習慣に関する成長の様子をチームで共有します				
	 2. 運動・感覚	ねらい さまざまな運動や感覚あそびを通して、自分の体を感じたり、動かしたりする楽しさを味わえるようにします 具体的な支援内容 ・マットや平均台、トンネルくぐりなどの運動あそびを取り入れ、体幹やバランス感覚を養います ・音・光・素材など、五感に働かせるあそびを用いて、感覚の調整力を育てます ・苦手な刺激（例：音、におい、触覚）に対して、少しずつ慣れていけるよう環境調整も行います 評価方法 ・運動あそびへの参加状況や表情、動きの変化を記録し、写真や動画も併用して振り返ります ・週1回の支援ミーティングで、どのような動き・感覚に対する反応がよかったかを話し合います				
	 3. 認知・行動	ねらい まわりの状況を理解したり、自分の気持ちをコントロールする力を育てていきます 具体的な支援内容 ・視覚支援やスケジュールを使って、「いつ・どこで・なにをするか」がわかるようにします ・待つ、順番を守る、ルールのある遊びに取り組むことで、行動のコントロール力を育てます ・イラストしたときの対処法と一緒に考え、落ち着く方法（深呼吸、ぬいぐるみ など）を見つけてます 評価方法 ・予定の理解やルールある行動がどのくらい定着してきたかを支援記録で確認します ・「前より落ち着いて取り組める場面が増えた」などの変化をチームで共有します				
	 4. 言語・コミュニケーション	ねらい 言葉や身振りを使って、自分の気持ちや要求を伝える力を伸ばします 具体的な支援内容 ・絵カードや身ぶり、簡単な言葉など、子どもが使いやすい方法でコミュニケーションをとります ・絵本の読み聞かせ、やりとり遊びで、「聞く」「話す」楽しさを体験します ・子どもが発した言葉やサインをしっかり受けとめて、「伝わった!」という経験を積み重ねます 評価方法 ・やりとりが成立した回数や内容、表情の変化などを記録します ・個別支援計画のモニタリングで、どの方法が効果的だったかを検討します				
	 5. 人間関係・社会性	ねらい 他の子どもや大人とのかわりの中で、「一緒に過ごす楽しさ」や「自分も大切な存在」と感じられるようにします 具体的な支援内容 ・ごっこ遊びや協力が必要なゲームを通して、やさしさや思いやりにふれる機会をつくります ・大人との1対1の関係を大切にしながら、少しずつ他児との関わりを広げていきます ・トラブルが起きたときは「どうしたらよかったか?」を一緒に振り返り、考える力を育てます 評価方法 ・関わろうとする様子（視線、声かけ、手の動き など）を観察し、支援記録に残します ・定期的に子どもの関係性の広がりをチームで話し合い、関わり方の工夫に活かします				
 家族支援	ねらい 子どもの成長をともに見守りながら、保護者の思いや不安にも寄り添い、家庭での安心感につなげます 具体的な支援内容 ・送迎時やメッセージアプリなどを通じて、日々の子どもの様子を丁寧に伝え、保護者の声にも耳を傾けます ・保護者面談や家庭支援ミニ講座を実施し、子育ての不安や悩みに寄り添います ・「できていないこと」ではなく、「できるようになってきたこと」「頑張っていること」を一緒に見つけます 評価方法 ・保護者アンケートや面談時の対話内容から、支援の受けとめや安心感の変化を把握します ・保護者とのやりとりを記録し、支援の継続性や丁寧さをチームで振り返ります		 移行支援		ねらい 就学・進級、引っ越しなどの節目に、不安を減らし、子どもとご家族が前向きな気持ちで新しい生活に移れるよう支援します 具体的な支援内容 ・小学校との交流・体験などを行い、就学へのイメージがもてるようにします ・進学前には個別支援計画やサポートシートをもとに、小学校・保護者・支援者との情報共有を行います ・不安を感じやすい子どもには、移行に合わせた視覚支援や説明を行い、安心できるようサポートします 評価方法 ・就学後の引き継ぎや保護者の声をふまえ、移行のスムーズさを確認します ・移行支援の記録（引き継ぎ資料・面談記録等）を整理し、改善点をチームで共有します	
 地域支援・地域連携	ねらい 地域の関係機関や住民とのつながりを大切にしながら、子どもたちが安心して過ごせる地域づくりに寄与します 具体的な支援内容 ・地域の保育所・幼稚園・学校・福祉機関と連携し、支援がつながるように情報共有を行います ・地域の子育て支援拠点や相談窓口と連携し、必要な支援につなげます ・避難訓練や見守り活動など、地域の安全・防災にも協力します 評価方法 ・連携機関との話し合いや書面での記録、フィードバックなどを記録・保存します ・年1回の地域支援の取り組みを振り返り、連携の質や内容を確認します		 職員の質の向上		ねらい スタッフ一人ひとりが、支援の質と人間性の両面で成長し、安心・信頼される支援を届けられるよう努めます 具体的な支援内容 ・月1回以上の内部研修を実施し、支援技術だけでなく、コミュニケーションや連携の力も高めます ・個別支援計画の振り返りを通じて、支援の根拠や工夫をスタッフ間で共有します ・困難なケースに対してはチームで話し合いどのスタッフも独りで抱え込まないようサポート体制を構築します 評価方法 ・研修記録、スタッフアンケート、支援振り返りシートなどをもとに、質の変化や課題を整理します ・スタッフ個々の振り返りやミーティングでの気づきをもとに、継続的に改善を図ります	
 主な行事等	ねらい 季節の行事やイベントを通して、楽しい思い出をつくりながら、社会とのつながりや自分の役割を感じる機会にします 具体的な支援内容 ・季節の行事（節分・ひなまつり・七夕・夏祭り・クリスマス など）を大切にし、親子参加型も取り入れます ・外出行事や買い物体験など、生活に根ざした活動を実施します ・子どもが「自分でできた!」と感じられるよう、無理なく楽しめる内容に配慮します 評価方法 ・行事後に写真や子どもの言動から様子を振り返り、良かった点や工夫点を記録します ・保護者アンケートやスタッフのふりかえりで、子どもへの影響や準備面を見直します					